

事業名	平成 25 年度能登キャンパス学生教育・活動支援事業「学生教育支援」 「穴水町におけるスポーツフィールド実習」	
実施主体	金沢星稷大学 池田幸應ゼミ	
活動 形 態	開催場所	穴水町
	活動人数	61 名
	期間	平成 25 年 6 月 14 日～平成 26 年 3 月 31 日
活動概要	<p>&lt;活動のねらい&gt;</p> <p>里山・里海環境の豊かな穴水町において、野外スポーツの視点から学生の正課及び正課外での地域環境を活かしたスポーツフィールド活動を通して、実学的に地域の現状を理解し、地域の課題解決に向けて取り組む人材育成に寄与する。</p> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>金沢星稷大学では、人間科学部において「フィールド基礎演習」(2年次)、「スポーツ・こどもフィールド演習」(3年次)が開講されており、全学部的な学生の地域における教育活動を実施している。本事業では、正課「スポーツフィールド演習」(3年次)及び正課外の「野外スポーツ部」学生のスポーツフィールド学習の一環として、以下の4つのステップにより活動を行った。なお、穴水町教育委員会、穴水町企画情報課、穴水町地域活性化検討委員会等の協力を得て実施した。</p> <p>[ステップ1：穴水町の地域環境の把握]</p> <p>能登地域、穴水町及びスポーツツーリズム等に関してインターネットや参考資料により基礎的把握を行った。</p> <p>[ステップ2：現地視察調査及び地域行事への積極的参加]</p> <p>自ら課題を設定し、実際に地域に入り視察を行い、既存の地域行事へ積極的に参加し、穴水町における野外教育活動等の現状について理解を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こどもエコロジーキャンプ」(8月7日・9日)</li> <li>・「沖波大漁祭り」(8月14日・15日)</li> <li>・「加夫刀曳舟まつり」(8月18日)</li> <li>・「雪中ジャンボかきまつり」(1月25日・26日)</li> </ul> <p>[ステップ3：活動についての評価]</p> <p>様々な活動を振り返り、活動に対する学生自身の自己評価、学生間評価及び地域側からの評価を基に活動における成果と課題を明確化した。</p> <p>[ステップ4：活動継続に向けて]</p> <p>地域側のニーズと学生のスポーツフィールド活動を継続するため、活動上の課題や活動推進のための検討を行った。</p>	

<活動における成果>

[地域にとって]

- ・学生・教員と地域との交流による活性化、伝統行事の継承、復活
- ・大学が保有する先行事例、専門的知見を活かした地域での現行取組の補強、新規事業の起業
- ・地域における受け入れ体制の充実
- ・地域人材の発掘・育成，地域力の活用促進・強化

[大学にとって]

- ・学生の成長（他者・地域理解の促進、新たな視点の獲得等）“グローバル人材への一歩”
- ・実践的な裏付けによる専門分野の学びの深化
- ・継続的な取組への動機づけ
- ・大学での教育・研究・社会貢献の在り方の再認識

<今後の課題と継続活動>

課題としては、①事前の情報・意識の相互共有の重要性、②活動拠点の選定、確保、充実化、③地域側・大学側のコーディネーターの確保、育成、組織化などがあげられる。

今回、正課、正課外としての学生のスポーツフィールド学習を実施したが、両者にとっても共に学習効果が期待された。活動継続のためには、地域での活動拠点、コーディネーターの存在は勿論ではあるが、大学側の学生を支援する担当教職員とそれらを支援する学内制度、組織が必要である。

事業名	平成 25 年度能登キャンパス学生教育・活動支援事業「学生教育支援」 「里山体験実習 in 能登半島、里海体験実習 in 能登半島」及び「いしかわ新情報書 府学 in 能登」	
実施主体	金沢大学 宇野文夫特任教授	
活動 形 態	開催場所	中能登町、輪島市、穴水町、能登町、珠洲市、七尾市、志賀町、宝達志水町、羽咋 市
	活動人数	17 名
	期間	平成 25 年 6 月 14 日～平成 26 年 3 月 31 日
活動概要	<p>&lt;趣旨と支援概要&gt;</p> <p>金沢大学共通教育科目及び大学コンソーシアム石川「いしかわシティカレッジ」の集中講義「いしかわ新情報書府学 in 能登」(1 単位)を「能登の里山里海」をテーマに 9 月 13 日から 17 日 (2 泊 3 日) のスケジュールで行った。参加者は学生 (9 人) や留学生 (2 人)、研究者、T A (ティーチング・アシスタント) ほか 17 人が参加した。今回、縄文真脇遺跡 (能登町)、総持寺と輪島塗 (輪島市)、ブドウ畑とワイナリー (穴水町)、キリコ祭り (珠洲市) など 13 のフィールド・ポイントでの見学に加え、その場で直接話を聞き、「場の学び」を深めた。学生たちはフィールドでの感性、場の考察をレポートとしてまとめた。</p> <p>&lt;集中講義の授業内容&gt;</p> <p>9 月 13 日 (金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨宮古墳と石動山に見る能登の古層の見学と解説 (安井重幸氏・中能登町教委)</li> <li>・総持寺と輪島塗の関係史、輪島塗の制作現場の見学と解説 (大向稔氏、塩安眞一氏)</li> <li>・夕日と塩田、旅情と文学 (藤平朝雄氏)</li> <li>・里の祈りと能登人 (松原洋氏)</li> </ul> <p>9 月 14 日 (土)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田んぼで見る里山と生物多様性 (萩野由紀氏)</li> <li>・リアスと拉致の事件現場の見学</li> <li>・縄文真脇遺跡に見る能登人と海の文化史 (学芸員)</li> <li>・アカテガニに見る里海の生物多様性 (坂井恵一氏)</li> <li>・珠洲のキリコ祭りの見学</li> </ul> <p>9 月 15 日 (日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カキ殻が育むワイン畑の見学</li> <li>・イルカとジンベイザメをテーマとしたのとじま水族館の見学</li> <li>・能登のスローフード、地産地消の取り組み (室谷加代子)</li> <li>・羽咋の神子原の里山マーケット見学</li> </ul>	

事業名	平成 25 年度能登キャンパス学生教育・活動支援事業「学生教育支援」 「2 市 2 町を対象とする地域看護フィールド教育」	
実施主体	石川県立看護大学 塚田久恵准教授	
活動 形 態	開催場所	七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、穴水町、能登町
	活動人数	7 名
	期間	平成 25 年 6 月 14 日～平成 26 年 3 月 31 日
活動概要	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域看護学実習において、学生らが主体的に企画した住民への健康教育を幅広く展開し、住民の健康保持・増進に寄与し、健康なまちづくりを支援すること。</li> <li>・学生が住民のセルフケア能力の向上に貢献する公衆衛生看護技術、看護援助(健康教育)を展開することで、その働きかけの方法や援助の在り方を考察し、自己の看護観を発展させる。</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>○平成 25 年 7 月 17 日 能登町の内浦健康クラブ、輪島市のひまわりクラブの方を対象に健康講座を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ「知って得する！夏を元気に過ごすコツ！！」</li> <li>・実施学生は 4 年次学生 4 名、参加者 60 名余り</li> </ul> <p>○平成 25 年 9 月 12 日 穴水町の 1～2 歳児とその母親を対象に健康講座を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ「むし歯を防ごう！」</li> <li>・実施学生は 4 年次学生 3 名、参加者子 6 組ほか</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域看護学実習において、学生らが主体的に企画した住民への健康教育を幅広く展開し、住民の健康保持・増進に寄与し、健康なまちづくりを支援すること。</li> <li>・学生が住民のセルフケア能力の向上に貢献する公衆衛生看護技術、看護援助(健康教育)を展開することで、その働きかけの方法や援助の在り方を考察し、自己の看護観を発展させる。</li> </ul>	